On Demand Seminor

勝つための方程式5

売買方針を元にポンド円の短期トレーディングを検証する

2009年10月16日

講師　小林芳彦

短期売買方針　本日の参入レベル　10月13日

短期(1日程度)売買方針

通貨ペア	方針	参入レベル	利食い	損切り
ドル円	買いから	89.50・89.35	(89.95)90.15	89.00
ポンド円	買い	141.50・141.20	142.35・142.60	140.80

＜本日の予想＞

ドル円	(89.35)89.50--(89.95)90.15	作成時　89.68-69	9:30AM
ポンド円	141.20(141.50)--(142.35)142.60	作成時　141.88-91	9:32AM

短期ディトレ具体例　1-2　(10月13日)

＜ドル円＞　買いから

本日仲値は不足だったと思いますが、昨日の海外時間から上値が重たく、ジリ安に推移していたため、今朝も薄い中で89.60台前半まで売り込む動きが出ました。仲値直前に買いが強まりましたが、89.95や90.15はなんか重たそうに見えています。
ユーロ円やポンド円は重たそうですが、ニュージー円は下値が固そう。豪ドル円はどちらかといえば、上値が重たそう。通貨によってばらばらです。本来は昨日も速報に書きましたが、仲値に向けて堅調推移と考えておりましたが、上値が重たい分、本来は買いが強まるところ、仲値を握って力バーしなかったインターバンクがいたとしたら後々ジリ高となる可能性もあり
89.50以下、89.35で買いから入れたらと思います。ただし利食いはあまり引っ張らないで軽く利食いするイメージです。　基本は買いから参入してみて、後はその後のイメージ次第といったところでしょうか　　10:15AM

作成時　89.68-69　　9:30AM

＜ポンド円＞　買い

対ドルは1.5820から上、1.5860にかけて　上値が非常に重たく見えており　基本は引き付けてまずは戻り売りのスタンスで参入する。
ストップを1.5920に置き、1.5730以下、1.5700にかけて　しっかりと買い戻す方針としたい。
ポンドドルが大きく崩れる場合には　ポンド円の買いを水準を下げることを想定しておきたい。
対円は141.50、141.20でまずは買いから参入。140.80にストップを置きつつ　142.35、142.60に掛けて利食い場を考えるような回転をイメージします。

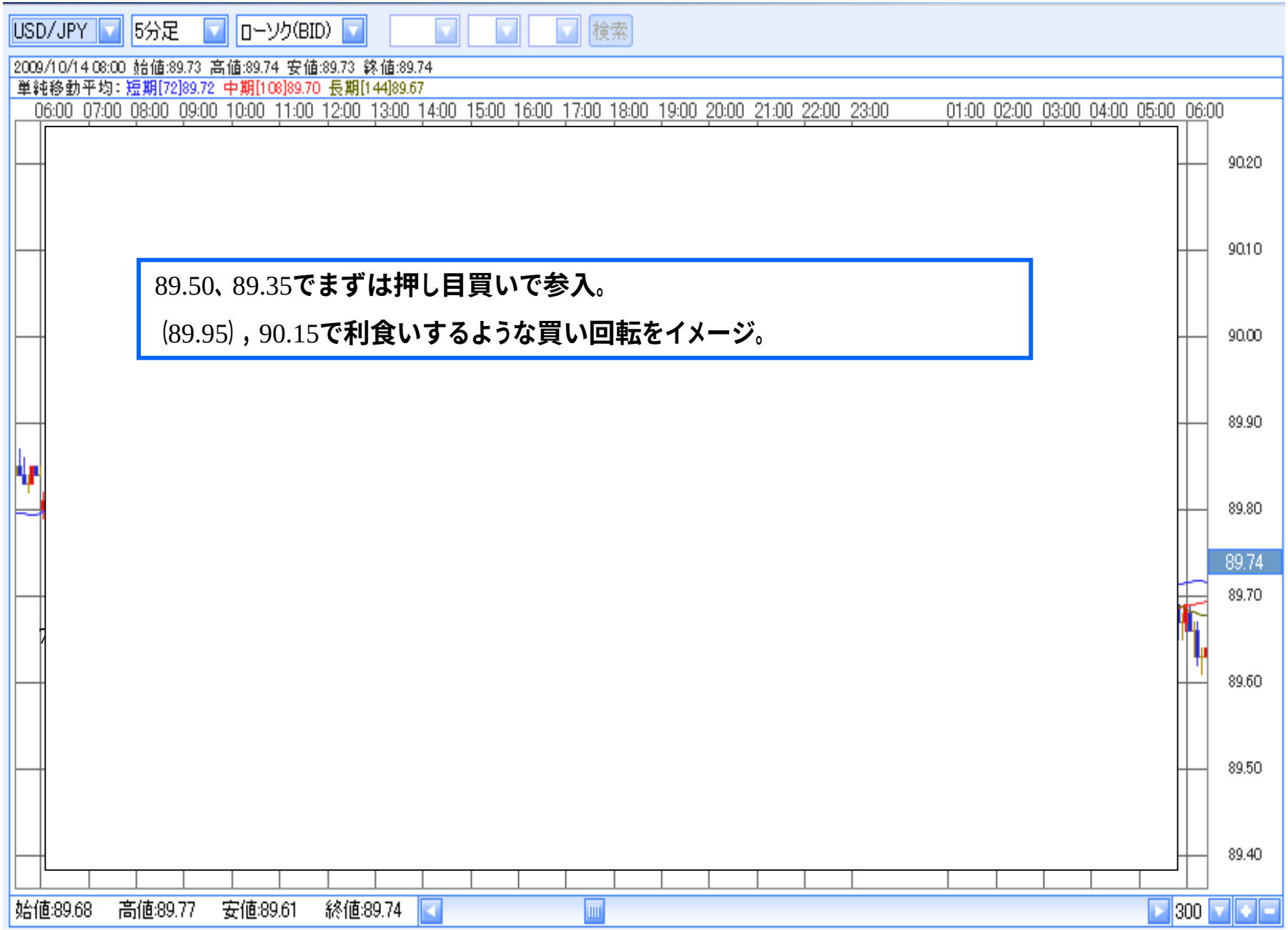
作成時　141.88-91　　9:32AM

ポンドドル　　1.5700(1.5730)--(1.5820)1.5860　　作成時　1.5767-70　11:27AM

ちょっとポンドドルが下落しつつあったので、141.50の買いを外してあります。(　11:32AM)

ドル円5分足

短期ディトレ具体例　1-3　(10月13日)

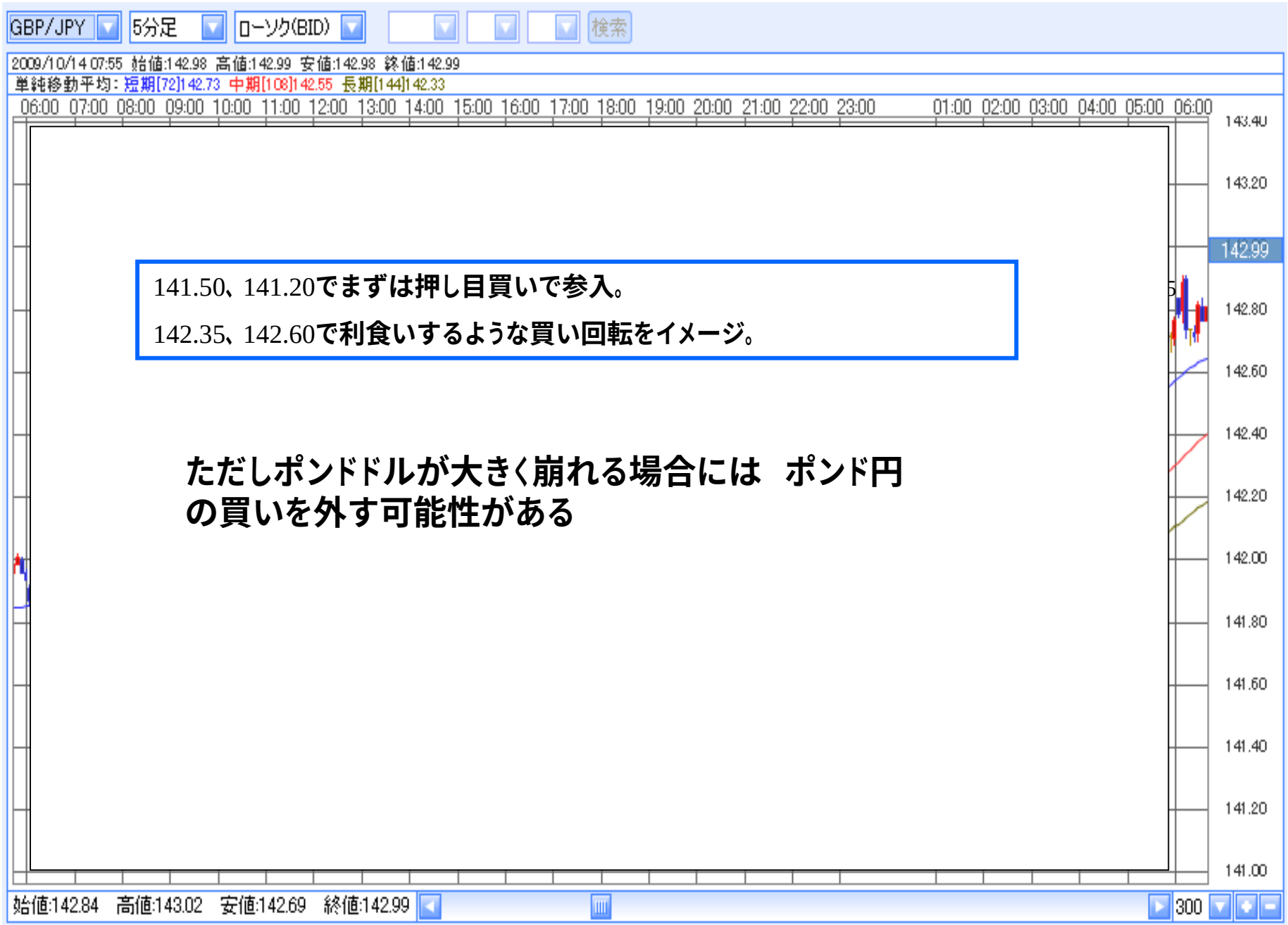


ドル円5分足

短期ディトレ具体例　1-4　(10月13日)

ポンド円5分足

短期ディトレ具体例　1-5　（10月13日）



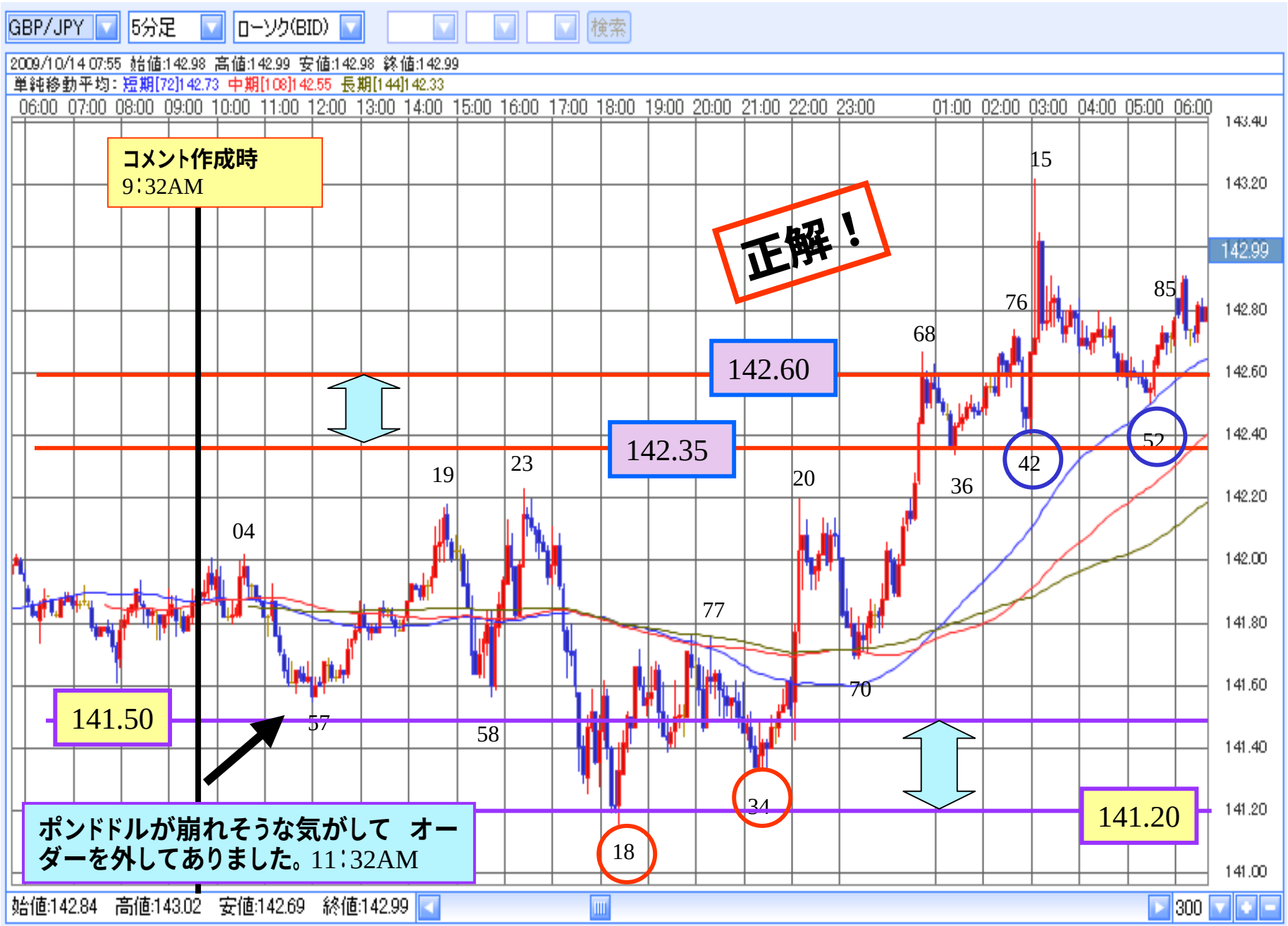
141.50、141.20**でまずは押し目買いで参入。**

142.35、142.60**で利食いするような買い回転をイメージ。**

ただしポンドドルが大きく崩れる場合には　ポンド円の買いを外す可能性がある

ポンド円5分足

短期ディトレ具体例　1-6　（10月13日）



短期売買方針　本日の参入レベル　10月14日

短期(1日程度)売買方針

通貨ペア	方針	参入レベル	利食い	損切り
ドル円	売りから	(89.85)90.15	89.45・89.25	90.50
ポンド円	レンジ　売りから	143.10・143.30	142.30.・142.00	143.75

＜本日の予想＞

ドル円	89.25(89.45)--(89.85)90.15	作成時	89.76-77　9:40AM
ポンド円	142.00(142.30)--(143.10)143.30	作成時	142.81-84　9:41AM

短期ディトレ具体例　2-2　(10月14日)

＜ドル円＞　売りから

やはりドル円は押し目買いがうまく行きましたが、安値89.43から90.08までショートカバーで吹き上がっても　なかなか90円台で定着が出来ず、すぐに垂れてくるところを見ると　90円台での実需の売りが相当しつこい状況なのかもしれません。
89.50－90.00では　正直、どっちからやったら良いのかイメージが湧かないので様子見。
どちらかといったら短期のトレーディングは　ドル円は90.00に近いところから売り先行。
ストップは90.50で。利食いを89.45以下、89.25にかけて。ポンド円、ユーロ円も売り先行。
昨晩、資源国通貨が売られた（金は高値史上最高値を更新しましたが）流れで　今日は豪ドル円、ニュージー円も　弱含みとなりそうなイメージがあります。　10:03AM

作成時　89.76-77　9:40AM

＜ポンド円＞　レンジ　売りから

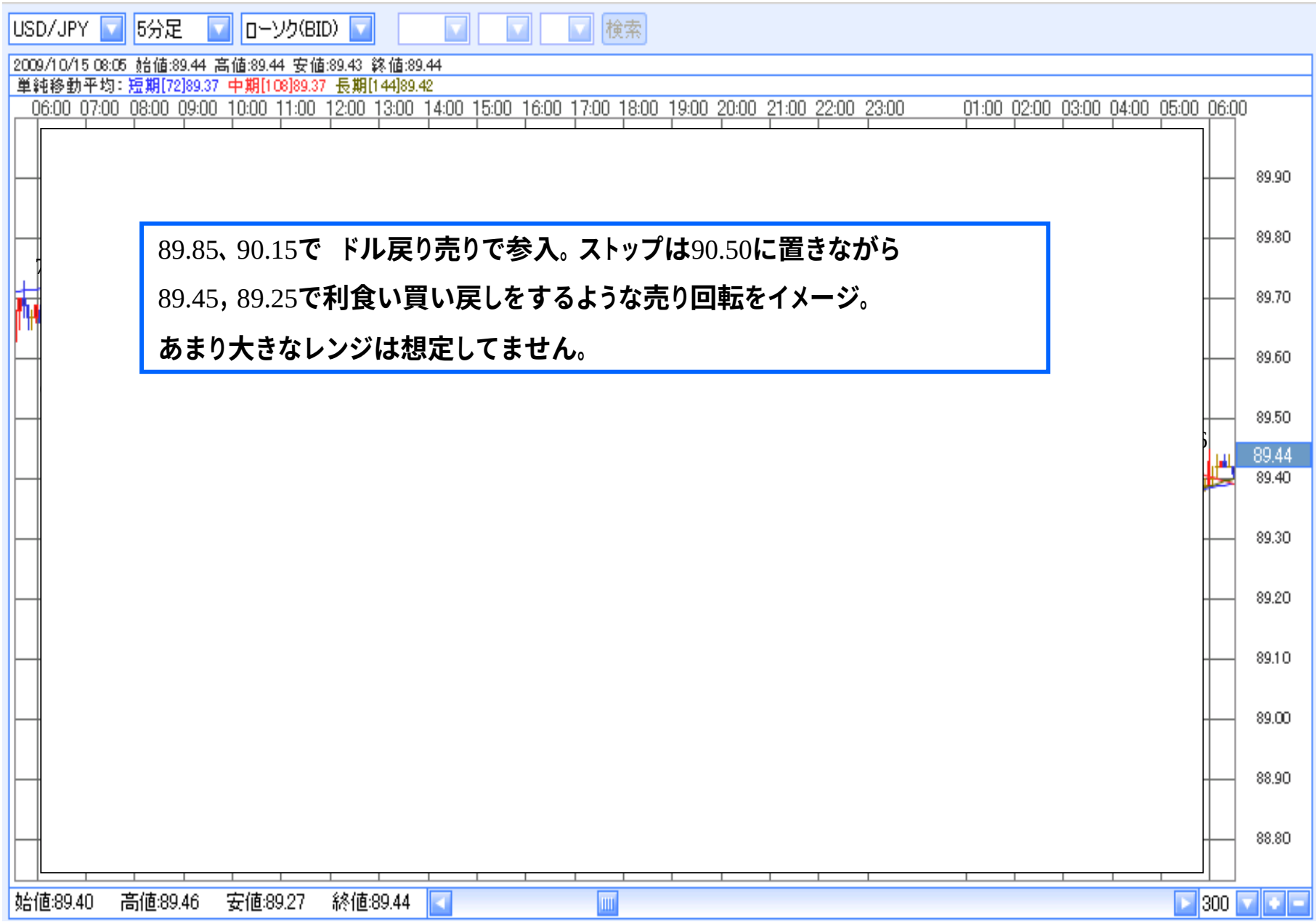
対ドルは下値が固く、ドル売りの流れに乗って、ポンドの高値を追いかける展開をイメージします。1.5885以下、1.5865にかけて、引き付けてまずはポンドの買いからスタート、ストップは1.5805に設定します。
利食いは1.5980から1.6000でイメージしています。
対円は　下落傾向のドル円と　上昇基調のポンドドルのスピード感の違いで上がり下がりがありそうで、予想は結構難しいと思います。やるならレンジ取引の中でまずは　売りから参入。
143.10、143.30で売りから入り、ストップは143.75で。142.30以下、142.00にかけて利食いするような回転をイメージしています。

作成時　142.81-84　9:41AM

ポンドドル　　1.5865(1.5885)--(1.5980)1.6000　　作成時　1.5940-43　11:11AM

ドル円5分足

短期ディトレ具体例　2-3　（10月14日）



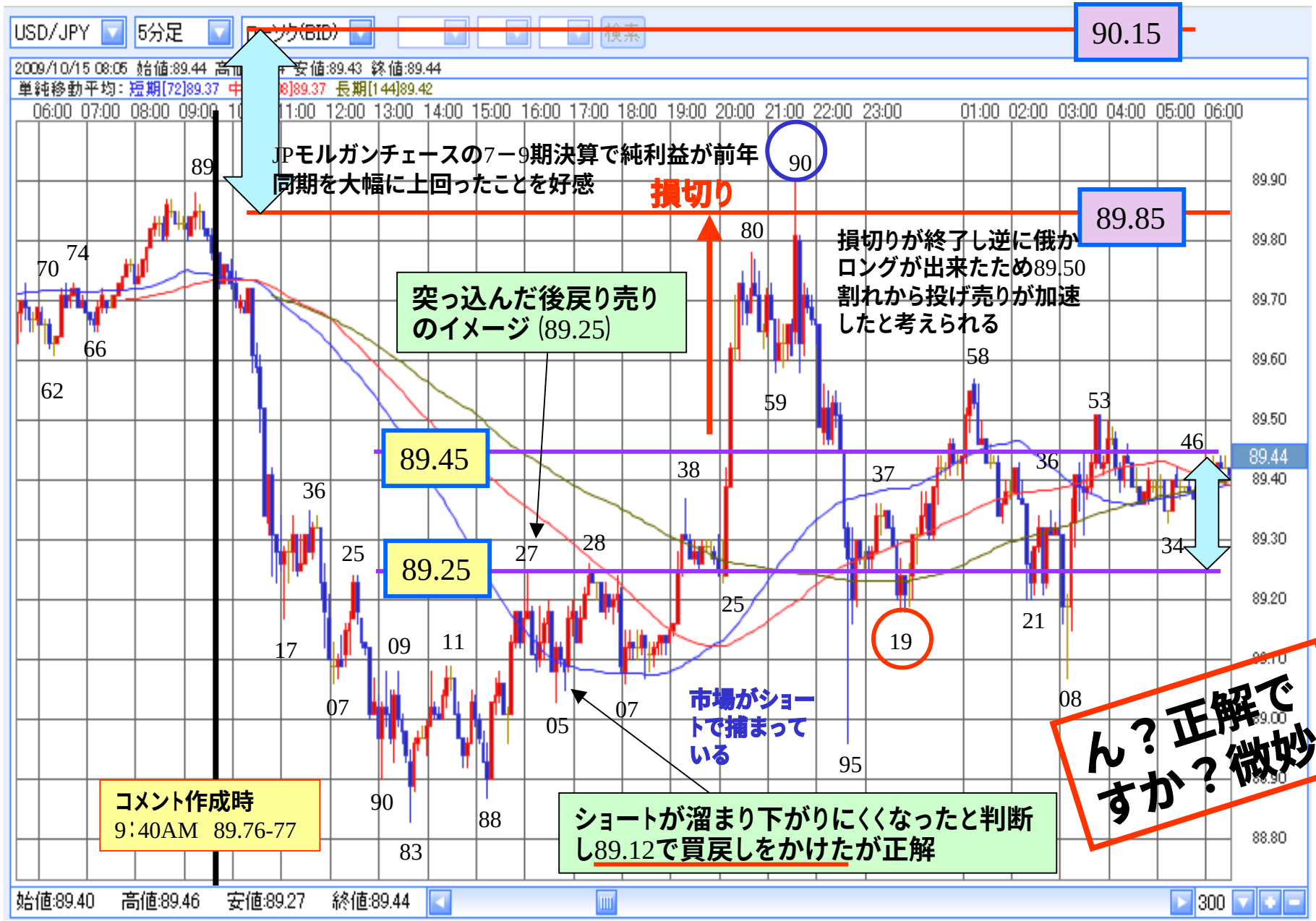
89.85、90.15で　ドル戻り売りで参入。ストップは90.50に置きながら

89.45，89.25で利食い買い戻しをするような売り回転をイメージ。

あまり大きなレンジは想定してません。

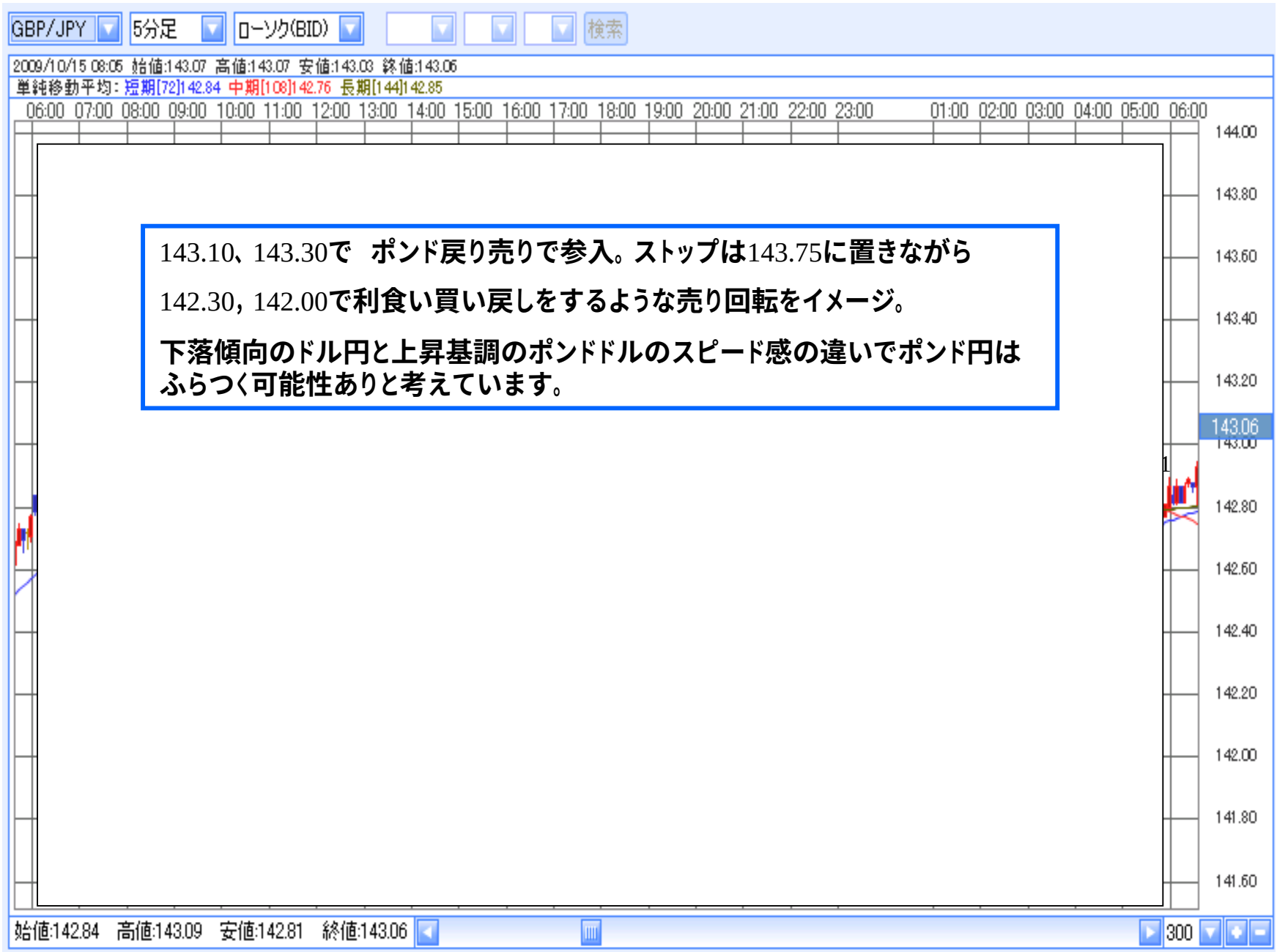
ドル円5分足

短期ディトレ具体例　2-4　（10月14日）



ポンド円5分足

短期ディトレ具体例　2-5　（10月14日）



143.10、143.30で　ポンド戻り売りで参入。ストップは143.75に置きながら

142.30，142.00で利食い買い戻しをするような売り回転をイメージ。

下落傾向のドル円と上昇基調のポンドドルのスピード感の違いでポンド円はふらつく可能性ありと考えています。

ポンド円5分足

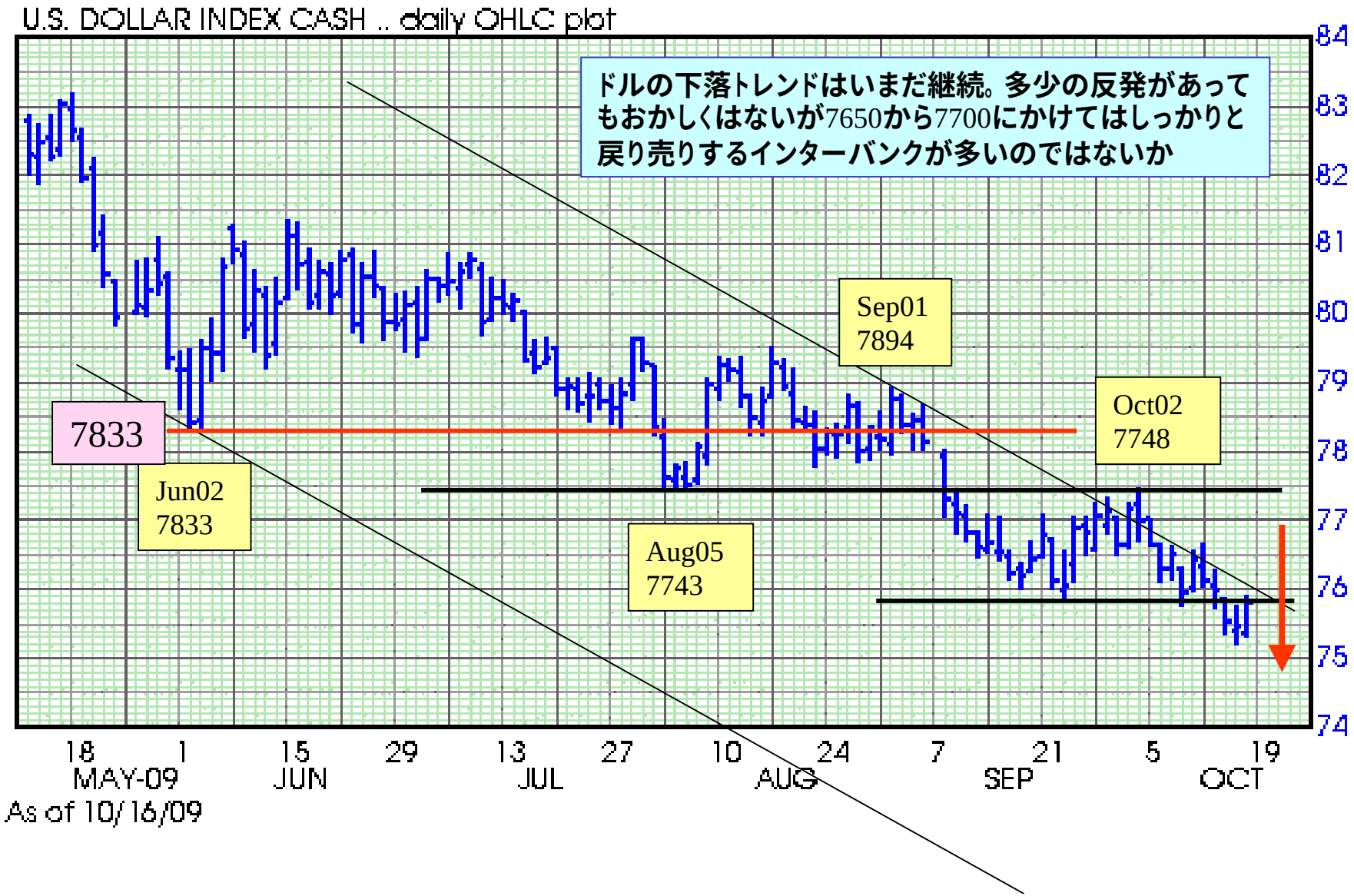
短期ディトレ具体例　2-6　(10月14日)

(Sep22)
おさらい

ドルインデックス Daily

(Oct16)

ドルインデックス Daily

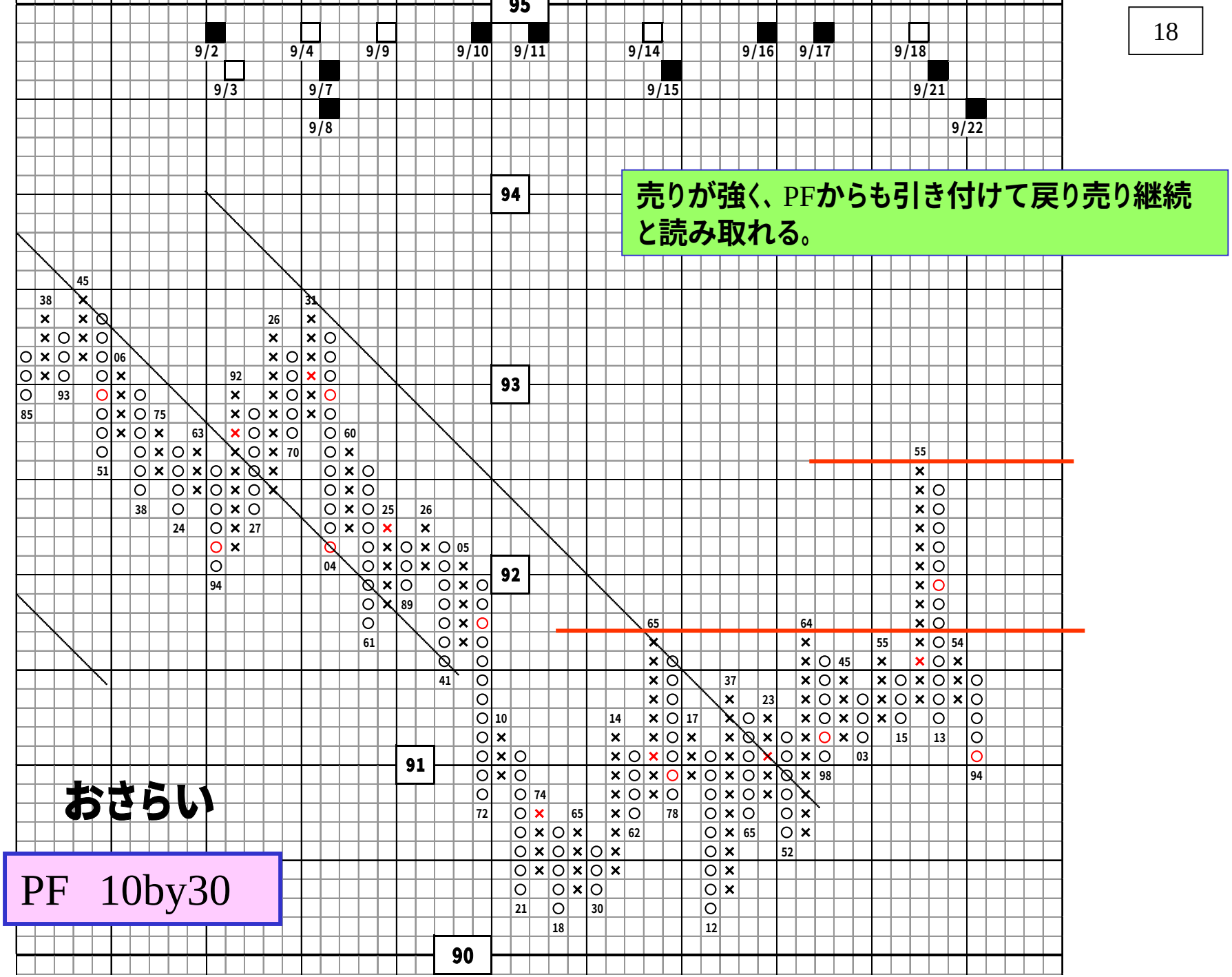


(Sep22)
おさらい

ドルインデックス　Weekly

(Oct16)

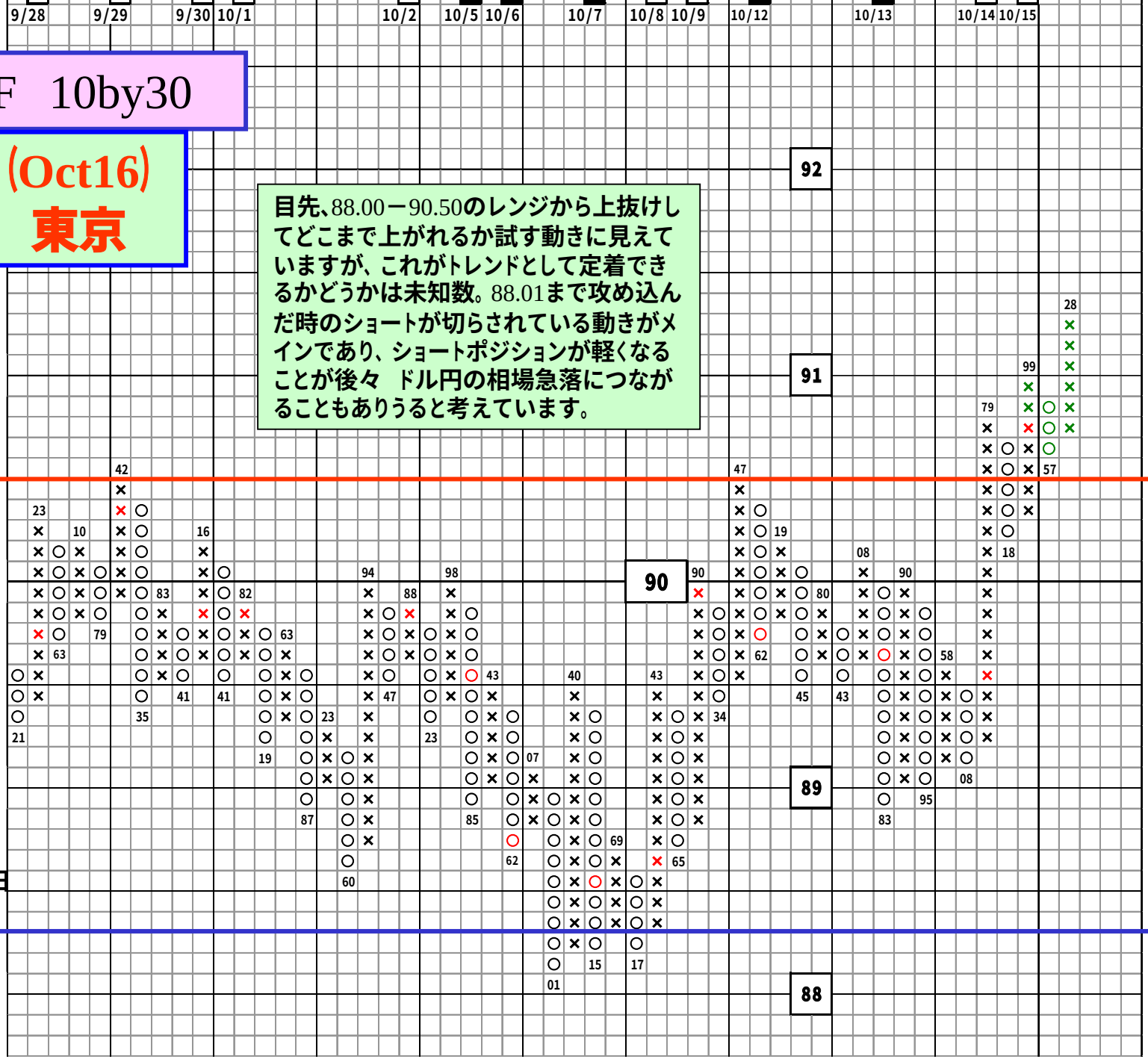
ドルインデックス Weekly


9/2
9/3
9/4
9/7
9/8
9/9
9/10
9/11
9/14
9/15
9/16
9/17
9/18
9/21
9/22
95
94
93
92
91
90
売りが強く、PFからも引き付けて戻り売り継続と読み取れる。
おさらい
PF 10by30

PF 10by30

(Oct16)
東京

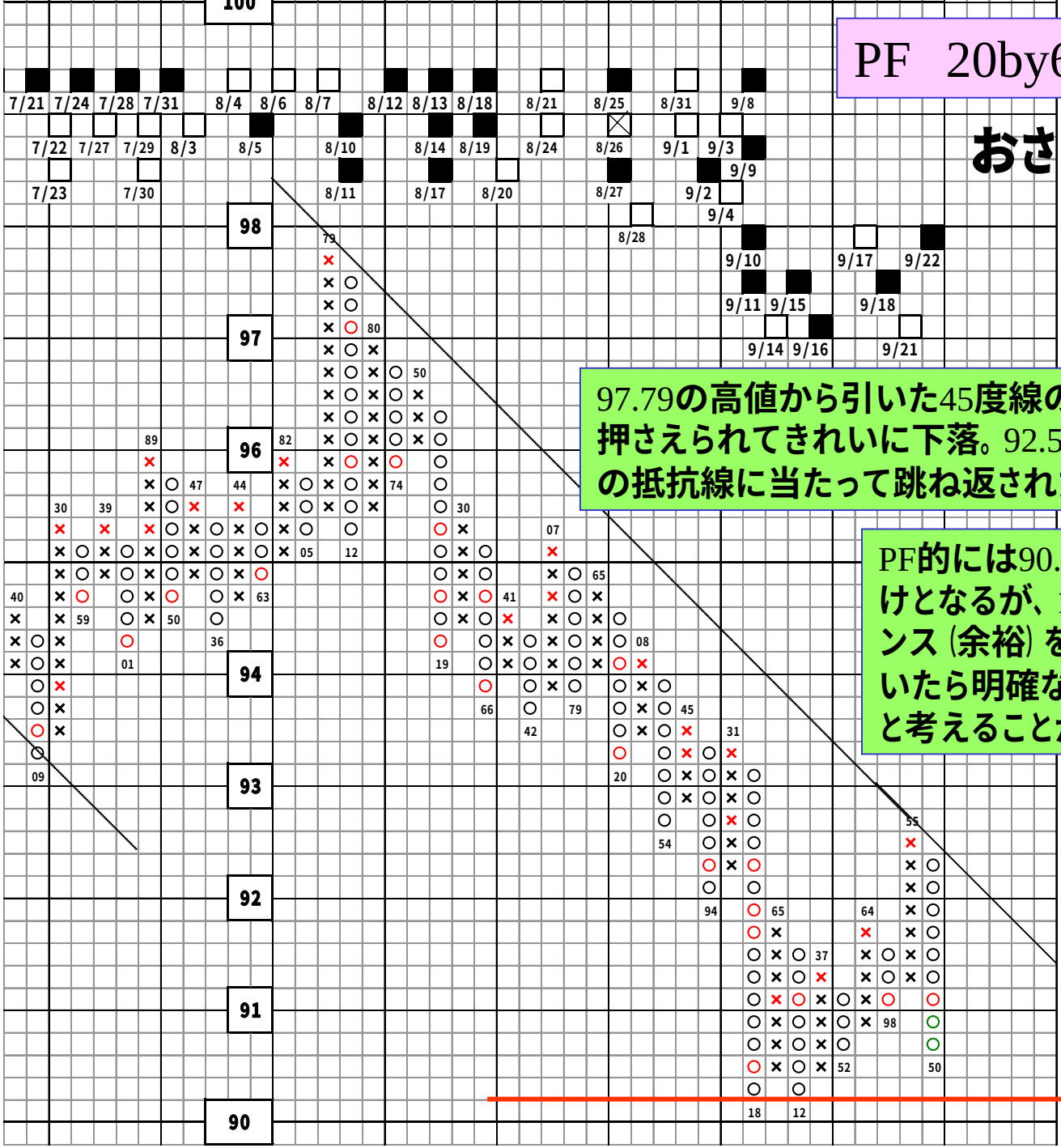
目先、88.00－90.50のレンジから上抜けしてどこまで上がれるか試す動きに見えていますが、これがトレンドとして定着できるかどうかは未知数。88.01まで攻め込んだ時のショートが切らされている動きがメインであり、ショートポジションが軽くなることが後々　ドル円の相場急落につながることもありうると考えています。



9月28日
88.23

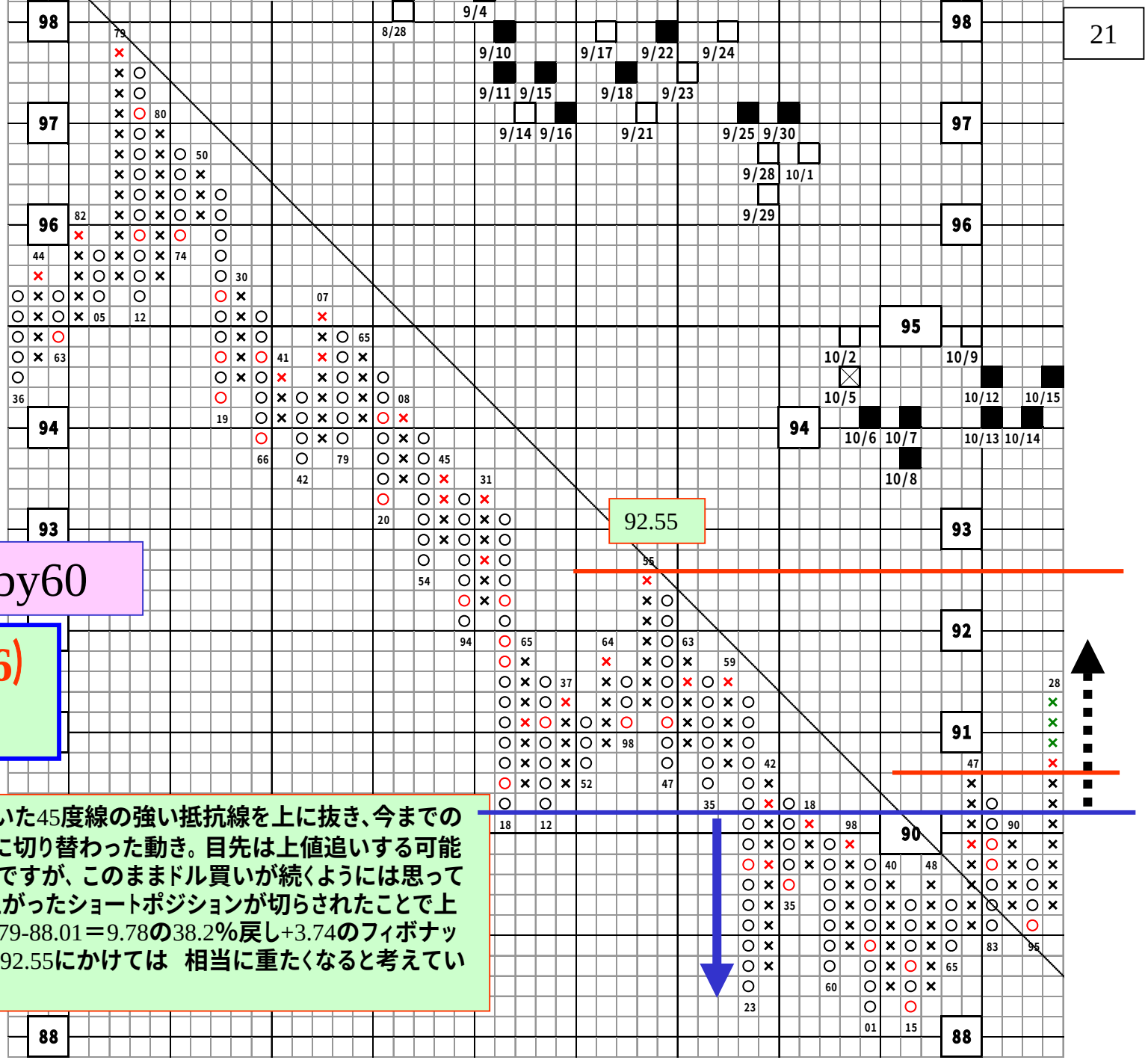
PF　20by60

おさらい



97.79の高値から引いた45度線の抵抗線に上値を押さえられてきれいに下落。92.55の戻り高値もこの抵抗線に当たって跳ね返された展開となった。

PF的には90.00が付くとした抜けとなるが、1ますはアロウアンス（余裕）を見て　89.80が付いたら明確な下抜けのサインと考えることが出来る



PF 20by60

(Oct16)
東京

97.97高値から引いた45度線の強い抵抗線を上に抜き、今までの抵抗線が支持線に切り替わった動き。目先は上値追いする可能性が高いチャートですが、このままドル買いが続くようには思っていません。出来上がったショートポジションが切らされたことで上昇しましたが、97.79-88.01＝9.78の38.2%戻し+3.74のフィボナッチ戻し　91.75から92.55にかけては　相当に重たくなると考えています。

ドル円　日足　チャート

(Sep22)
おさらい

(Oct16)

ドル円　日足　チャート

ダウントレンドチャネルの中で88.01で止まったのは強いサポートラインの線上だったから。97.79から引いた抵抗線を切り上げて目先は上昇する展開の可能性が高い。

ポンドドル　日足　チャート

(Sep22)
おさらい

(Oct16)

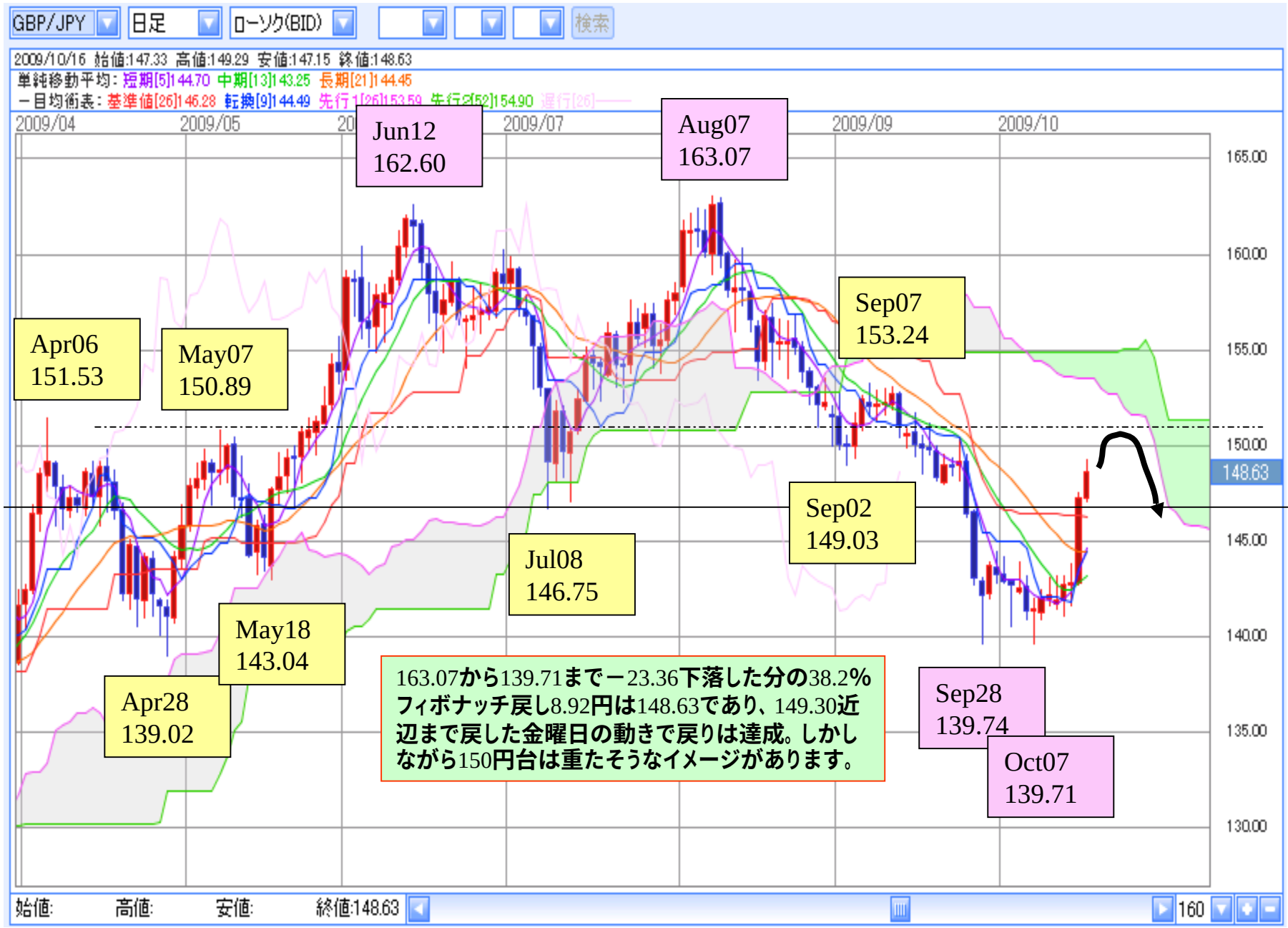
ポンドドル　日足　チャート

ポンド円　日足　チャート

(Sep22)
おさらい

(Oct16)

ポンド円　日足　チャート



(Oct16)

ドル円　時間足　チャート

(Oct16)

ポンドドル　時間足　チャート

ポンド円　時間足　チャート

短期敵には149円台まで買いあがっており、レベル感で売り向かうのは危険です。時間足の雲下限を切ったらロングは止めるという条件で　雲の中に入ってきたら買い参入するポイントを考える。高値警戒感が強く　反落が怖くなりますが、どこまで上がるかはっきりしない中で単なるレベル感で売りあがるのは非常に危険。順張りはやはり押しを「買いでついて行く」ことと考えます。売る場合にはサポートを割り込んだことを確認してからポンド売りを開始してもまだ充分間に合うし、収益も取れるのではないかと思っています。150円は大きな節目であり　上値は重たくなりそうです。

147.50が切れるときには一旦撤退も良さそうに見えますし、146.50割れは明らかにロングは損切りすべきと思います。

＜リスク開示＞
このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。
当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。
なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞
店頭外国為替証拠金取引は、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）により、大きな利益を得る場合もありますが、元本（預託金）を上回る損失発生の可能性があり、元本や利益を保証するものではございません。
特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。
また、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）についても通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、プラスの場合もあれば、マイナスの場合もあります。
当社では、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。
また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断によりお取引ください。

商 号 :ヒロセ通商株式会社
業務内容:第一種金融商品取引業
登録番号:近畿財務局長（金商）第41号
加入協会:金融先物取引業協会 会員番号1562